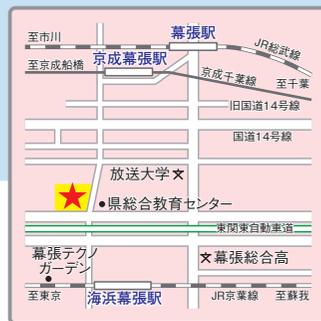


渋谷教育学園幕張 中学校

所在地／〒261-0014 千葉県美浜区若葉1-3
TEL／043-271-1221
学校長／田村 聡明
創立／1983年に学校法人渋谷教育学園が幕張に高校を設立し、1986年に中学校を開校。
URL／www.shibumaku.jp

	1年	2年	3年
男子	202名	206名	161名
女子	90名	102名	130名
クラス数	9組	9組	8組
中高総生徒数／1961名			



〈交通アクセス〉
JR京葉線「海浜幕張」駅より徒歩10分
JR総武線「幕張」駅より徒歩16分
京成千葉線「京成幕張」駅より徒歩14分

生徒の個性を大切にして、21世紀の社会に貢献できる人材を育成

1983年、幕張新都心に創立された男女共学の進学校です。教育目標は「自調自考の力を伸ばす」「倫理感を正しく育てる」「国際人としての資質を養う」の3つで、思いやりのある心・向上心・自主性にあふれ、個性豊かな人間の育成をめざしています。教科学習では、基礎学力を重視して、そのうえで生徒の思考力や創造性を育てます。学校行事や部活動も、自調自考の精神に基づき、生徒が主体となって運営します。留学生や帰国生の受け入れにも積極的で、学校全体に多様な価値観を主張できるムードが漂っています。

スクールライフ

●教育内容

学年の初めにシラバス（授業の計画）を配布して、1年間の授業をどのように行っていかを生徒に理解させています。主要教科ではプリントなどのオリジナル教材を多く用いて、わかりやすさを追求した効率的な授業を行っています。中1・2では少人数教育で基礎学習の徹底を図り、英・数・国の3教科については中2で中学の内容を終え、中3からは高校の内容に入ります。また、「授業は生徒との共同作業である」という考えの下、生徒に授業アンケートを実施。外国人講師による英会話の授業や、中3から高2の希望者を対象に開講する第二外国語講座なども用意しています。

■主要5教科の週当たり時間（コマ）数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	6	6	6	4	4
2年	6	6	6	4	4
3年	6	6	6	4	4
合計	18	18	18	12	12

- ◎1日当たりの授業コマ数：50分×6時限
※土曜日は4時限
- ◎登校時間：8時25分

マネーガイド

■2024年度納付金（諸経費を含む）

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	280,000円	0円	0円	0円	280,000円
初年度総額	280,000円	444,000円	192,000円	347,930円	1,263,930円

※入学金の延納が可能

●部活動

約40のクラブ・同好会が活動し、生徒の参加率は9割程度。体育系ではテニス部、水泳部、空手道部、陸上競技部が、文化系ではディベート部、化学部、電気部、囲碁同好会が全国大会に出場しています。
○文化系／美術、吹奏楽、室内楽、アニメーション、合唱、演劇、軽音楽、書道、ディベート、科学など
○体育系／野球、水泳、陸上競技、卓球、バドミントン、バスケットボール、サッカー、剣道、硬式テニス、体操、ハンドボール、弓道、ドリルチーム、ダンス同好会など

●行事

学校最大のイベント、9月の槐祭（文化祭）をはじめ、多くの行事があります。2日間にわたって行われるスポーツフェスティバルも人気のある行事の1つ。5月には校外学習で、中1は千葉県野田、中2は神奈川県鎌倉を訪れます。また、卒業生医師による特別授業など、実社会や自身の将来について考える行事もあります。

●修学旅行・研修旅行

10月に中1は南房総に、中2は東北に2泊3日の宿泊研修に出掛けます。研修は「自調自考」の一環として、現地集合・現地解散で、事前に調べた見学場所を巡る班別行動が中心です。また、留学生の受け入れや、中3のニュージーランドホームステイ研修など、国際交流に力を入れていることも特徴です。

- ◎寄付金：なし
- ◎授業料：3期分納
- ◎奨学金・特待生制度：入学後、家計状況の急変等により就学が困難となった場合、学資金を貸与または給付。また、入試成績優秀者に入学金・授業料・施設拡充費相当額の奨学金を給付（1年間・更新あり）

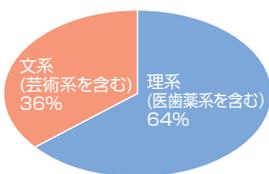


サピックスからの合格実績(過去3年) '22 378名 '23 413名 '24 383名

進学指導の概要

内部進学者は中3より高校の内容に入るため、高入生は、高1では別クラス・別カリキュラムとなります(ただし、芸術・体育は混合)。また、高1の国語では少人数授業を設定。高2からは、自己の可能性を最大限に発揮できるように、それぞれの適性や進路に合わせて文系・理系の選択制となり、科

2024年3月卒業生の進路の内訳



目ごとに教室を分けての授業が増えます。進学指導としては、夏期講習や放課後の講習などを実施。国際教育の一環として中国語・スペイン語・フラン

ス語・ドイツ語、ハンガリーなどの講座を開講します。このほか、生徒に授業アンケートを実施するなど、充実した授業を行うための工夫をしています。

併設高校から主要大学への合格実績

※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	北海道大	東北大	東京大						京都市大	一橋大	東京工業大	東京芸術大	東京理科大学	東京外国語大	お茶の水女子大	千葉大	筑波大	
			文科I類	文科II類	文科III類	理科I類	理科II類	理科III類										合計
22年	4	6	9	7	10	18	8	2	54	6	9	7	2	3	1	—	21	10
	7	7	11	10	14	25	12	2	74	7	10	9	2	3	1	—	32	15
23年	8	2	9	13	8	18	9	2	59	7	16	9	—	5	—	—	19	10
	8	4	9	15	10	26	12	2	74	12	19	11	—	5	1	—	28	13
24年	5	8	3	6	3	33	5	1	51	6	10	2	1	—	—	—	15	9
	5	10	4	8	5	36	10	1	64	13	7	11	3	1	—	1	23	13

	早稲田大	慶應義塾大	上智大	東京理科大学	国際基督教大	学習院大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	津田塾大	東京女子大	日本女子大	文部科学省所属の大学	海外の大学	国公立・医学部	私立・医学部
22年	157	104	39	72	2	2	61	12	15	9	11	—	—	—	3	36	21	60
	220	153	59	126	2	4	95	21	26	36	43	2	—	—	5	36	41	91
23年	176	100	39	102	1	1	50	14	10	17	12	—	2	4	2	16	25	43
	235	138	70	145	1	2	88	20	22	30	26	—	10	4	2	17	38	76
24年	156	119	26	92	2	6	30	4	10	19	6	—	5	—	2	58	33	51
	209	151	45	131	4	11	65	8	22	38	28	1	5	3	2	64	42	77

★指定校推薦枠(2024年度) 非公表

入試情報

2024年度の入試結果

		募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
1次※	男子	約215	1427	1377	508	2.7
	女子		632	592	157	3.8
2次	男子	約45	371	349	53	6.6
	女子		185	172	15	11.5
帰国	男子	約20	74	71	16	4.4
	女子		77	77	18	4.3

※1次の数字には、帰国生入試との併願者を含む。

2024年度入試 受験者・合格者の教科別平均点(男女合計データ)

		算数	国語	理科	社会	合計
1次	受験者	37.7	59.1	31.2	41.6	169.7
	合格者	54.9	64.6	38.0	46.4	203.9
2次	受験者	44.0	64.4	35.1	46.1	189.6
	合格者	65.5	72.1	43.7	52.8	234.0
帰国	受験者	英語(筆記・リスニング・エッセイ) / 73.5				
	合格者	英語(筆記・リスニング・エッセイ) / 84.9				

○配点:算国=各100点 理社=各75点 帰国:英語=100点

○合格最低点:1次185点 2次223点 帰国82点

24年の募集要項

※以下は2024年の募集要項です。2025年の要項は学校の発表をお待ちください

入試日/帰国1月20日 ①1月22日 ②2月2日

募集人員/男女約280名

(①約215名 ②約45名 帰国約20名)

合格発表/①・帰国1月24日 ②2月3日

※ホームページで発表

手続締切/①・帰国1月25日 ②2月3日

試験科目/①②国語(50分・100点)、算数(50分・100点)、理科(45分・75点)、社会(45分・75点)
帰国 英語(筆記・リスニング50分、エッセイ30分)、面接=計100点

面接/帰国のみ(英・日)

受験料/26,000円

公開行事・説明会予定

【入試説明会】

11月 9日(土)

【槐祭(文化祭)】

9月15日(日)

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOB・OGの声

- とても自由な校風で、ルールも生徒に委ねられています。わたしのクラスには帰国生が多く、日本語よりも英語で話すほうが楽だという子も少なくないので、そういうクラスメートと早く英語で話せるよう、昼休みにネイティブの先生と話したり、英語のゲームをしたりするイングリッシュクラブに入ってがんばっています。
- 宿泊研修・修学旅行では、「自調自考」という教育目標や、生徒みずからが考えて行動するという姿勢が端的に表れます。班単位で活動するこの宿泊研修はすべて現地集合、現地解散。最初は戸惑いでしたが、今ではルート検索にも慣れて、時間も正確に守っています。